

出 藍

第10号 (月刊)
平成28年1月8日発行
兵庫県立三木高等学校
第70回生第1学年

学年団より ~2016年 新年のご挨拶~

明けましておめでとうございます。有意義な冬休みを過ごせたでしょうか？そして、2016年はどのような年にしたいと想っているのでしょうか？1学年として残された時間はわずかですが、3学期は1, 2学期以上に頑張ったと胸を張って言えるように過ごしていきましょう。また、ともしればすぐに2年生になります(なってしまう?)。まだ中学生気分の生徒はさすがにいないとは思いますが、次の三木高校の評価を決めるのは皆さん一人一人の双肩にかかっているという自覚を持って過ごしてください。

さて、新年最初の学年通信では学年団の先生方からの新年の挨拶とメッセージをご紹介しますと思います。

学年主任 井上 誠司

新しい年を迎えました。今年も70回生の方向性を示してくださるのが、担任の先生であり、学年の先生です。言われることをしっかり聞いて頑張ってください。皆さんを一番身近で見、これからどうすべきかがわかっておられるのがチームリーダーである担任の先生です。

ややもすると、「また同じことを・・・」「その話聞いた・・・」と感ずることがあるかもしれませんが、それこそ1年先、2年先を見据えた一言だと思えます。

もし、学年の進む方向性が間違っていると感ずたり、皆さんが困るようなことになっているとしたら、すぐに私の右鎖骨を攻めにきてください。

学年副主任 尾上 典宏

あけましておめでとうございます。みなさんは今年の抱負をどのように考えていますか？私は子どもと一緒に書き初めをし、「健康家族」と書きました。当然、家族の健康を祈ってのものですが、正直言って、私以外はみんな健康なのです。スキーをしてみて、すぐにバテる体力のなさを実感し、帰ってきてランニングをすれば足を痛める。新年早々、つまらないことを気にして胃が痛くなるといった見た目とは全く異なる不健康な私です。みなさんが目標に向かって一生懸命頑張ってくれることが、私が健康を損なわないための予防薬の一つです。今年もよろしくお願ひします。

高校生に入ってから初めての正月を超え、新年を迎えました。

皆さんはこの2016年をどのような年にしたいと考えていますか？あんまり深く考えている人はいないのではないのでしょうか。それは2015年の振り返りがきちんとできていないからです。僕は何かが終わるとき、たくさんの反省をします。そして新しいことに取り組んでいくように心がけています。

それができているなら、2016年をどのようにしていきたいのか必ず見えてくるはずですよ。勉強も人生も同じですよ。

「計画」→「実践」→「反省」 「予習」→「授業」→「復習」

似ていると思いませんか？ この中で先生が大事だと思うものは「反省」「復習」です。

2015年の反省ができていない人は、一度振り返りよかったところ悪かったところを見つけ出してください。

2組担任 木村 綾

年末の大掃除をしていて、ふと中学時の卒業文集が出てきた。その中の「20年後の私」というページにふと目がいついてしまった。懐かしい名前の横に、社長になる」とか「かわいいママになる」など様々な未来への希望が記入されていた。そして私の名前の横には「バリバリ働いている」と書いているではないか！！そんなことを考えていたのか・・・と思わず苦笑してしまいました。

教師になって20年。節目の年にこのページを開いた偶然に何か不思議なものを感じた。「書いた限りは15歳の自分に恥じないように」と神様から告げられたようで・・・活字の威力と恐ろしさを同時に感じた瞬間であった。

3組担任 庄司 浩一

新年になって、前から気になっていたうどん屋さんへ行った。そこは私が中学生のとき祖母と一緒にいったなつかしい店であった。そのとき自分は「きつねうどん」を食べたかったのだが、トイレに行っている間に祖母が勝手に「玉子うどん」を注文してしまった。別にどんなうどんでもよかったのだが、こんなうどんいらんのにと言って玉子の部分を残してうどんだけ食べた。本当に当時は甘えてわがままを言っていたと思う。いまだにその店の前を通るたびに思い出して後悔している。君らも知らず知らずのうちに親や祖父母にわがままを言ったりして困らせていないだろうか。新年というこの機会に考えて下さい。



Three wise monkeys

” see no evil, hear no evil, speak no evil.”

4組担任 櫻木 由佳

年末に三木高校64回生の同窓会に参加してきました。卒業後すぐに4年制大学に進学した人はちょうど大学4回生で、春から就職する人が多くいました。高校卒業時に持っていた夢をかなえるために努力した人や、大学に入ってから将来について真剣に考えて就職した人など、色々な声を聞けました。また専門学校や短大に進学後すでに働いている人もいて、苦労しながらも頑張っている姿がみることができて、よい機会でした。

70回生のみなさんにとっては今年は2年生になり、学校の中核として頑張っていく学年になります。「自分はこれだけは他人に負けない」というものを1つでもつくり、自分を磨いていってください。

5組担任 増本 慎太郎

70回生の皆さん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。今回は僕が高校生の頃、担任の先生に言われた言葉を紹介したいと思います。それは「食料を保存する缶詰が発明されたのは1803年やったけど、それを開ける缶切りが発明されたのはそれから50年後やねんで」というものです。当時の僕には全く意味が分かりませんでした。今となっては、実は次の2つの事を指していたのではないかと思うようになりました。まず、1つ目は「大事・必要な物はいつでも身近にあるわけではなく、後から遅れてやってくることもある」。そして2つ目は「人間は必要に迫られないと、追い込まれないと、本気を出さない。考えない。」というものです。皆さんは「何が大事で、そのためには『今』何をしなければならないのか」を考えて行動していきましょう。

6組担任 石田 紀代子

2年生の0学期が始まりました。冬休みは有意義に過ごせましたか？

『人を動かす人』になるために知っておくべきこと』（ジョン C マクスウェル著）という本の中に次のようなことが書かれていて、私の心が見透かされているようで恥ずかしくなりました。

「…人が時間をかけるのは要領が悪いから。自分が時間をかけるのは丹念にやっているから。

人がやらないのは怠慢だから。自分がやらないのは忙しいから。…」

何が言いたいかわかりますか？人は自分に都合の良いように無意識に考えるということです。勉強や部活、できなかったことに対して自分に都合のいいように言い訳していませんか？2年生0学期から自分の行動に言い訳することをやめましょう（もちろん私も）。そして出来なかったことを認め、どうすればできるようになるかを考えて前向きに（関ジャニも言っていますね）行動しませんか。

7組担任 小川裕之

70回生諸君、2016年が始まりましたね。どんな1年にしようと考えていますか？部活動で結果を残すのもよし、勉強で井上・尾上賞を取るのもよし、学校行事で目立つのもよし、まずは何か達成しようとする目標を1つ立てましょう。ちなみに私の目標は、君達の英語の偏差値平均が50を超えることと久々にテニスの草大会に参加して優勝することです…。お互い精一杯頑張りましょう！

目標を達成するために大切なのは、「なぜその目標なのか」「これからどこへ向かおうとしているか」をしっかりと意識することです。過去にしがみつき、そこその現状に満足していた自分からは卒業し、将来の道を切り拓き、自分自身を高める気持ちを忘れずに毎日過ごしていきたいものです。

学年付 赤木 智也

新年明けましておめでとうございます。突然ですが、皆さんは頼まれることは好きですか？たいていの人は面倒だとか、できなかつたらどうしようと思うでしょう。僕もそういう性質です。しかし、僕はできるだけ“イエスマン”を心掛けています。つまり、あえて頼まれ事を断りません。「頼まれ事は試され事」であるからです。相手は自分の能力を試してきているのです。相手をビックリさせるくらい一生懸命やり、想像を超える成果で返してみましょ。相手の喜ぶ顔が返ってきます。ありがたい言葉をたくさんもらえます。失敗しても誠意が伝わります。自分への自信が深まります。やらされているという感覚からは決してよいものは生まれません。視点を変えて能動的にやってみる方が得に決まっています。この考え方は中村文昭さんという人の考え方です。僕の中にある楽しく生きるための考え方に似ていると感じました。興味のある人は検索してみてください。

今後の予定

1月23日（土）	1月進研模試
1月24日（日）	第3回英検1次
2月5日（金）	第3回漢検
2月9日（火）	木曜授業
2月21日（日）	第3回英検2次
2月25日（木）～	学年末考査

1月進研模試

冬休みまでの取り組みの真価が問われます。ごまかしは効きません。

学年末考査

3学期は一発勝負！スタートで出遅れるな！